

水害から命を守るわたしの防災行動計画

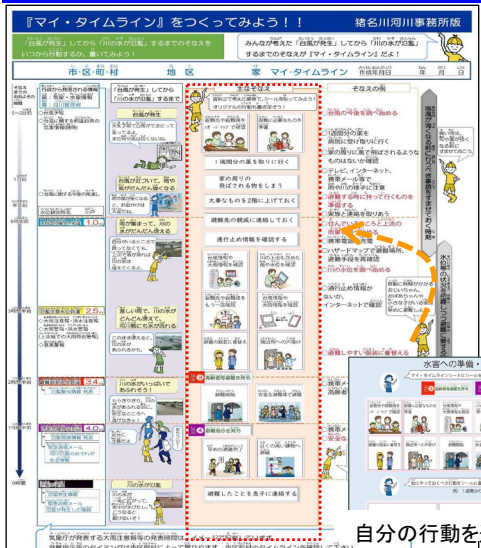
～豊中市でマイ・タイムライン作成講座を開催しました～

○猪名川河川事務所は、豊中市と共同で、「マイ・タイムライン作成講座」を開催しました。
○猪名川河川レンジャーで防災士でもある志築さんを講師として、地震災害、豪雨のメカニズム、災害への備えやハザードマップの見方などを教えて頂きながら、“豊中市洪水ハザードマップ”や“猪名川河川事務所版マイ・タイムライン作成シート”を活用したマイ・タイムラインの作成を行いました。

- ◆日時：令和7年12月18日（木）18:30～20:00
- ◆場所：豊中市庄内コラボセンター
- ◆参加者：12名
- ◆内容：講義「豊中市の災害想定からマイ・タイムラインを作成する」
マイ・タイムライン作成講座
豊中市マイ・タイムライン（デジタル版）の紹介



猪名川河川事務所版 マイ・タイムラインシート




豊中市 マイ・タイムライン（紹介チラシ）



◆参加者からの感想

- ・マイタイムラインを実際に作ってみて、理解が深まりました。あと、川の水位を確認できるサイトが知れて良かったです。
- ・住んでいる所が浸水区域に入っており、気になって受講しました。気になっている事もお話下さって勉強になりました。

【問合せ先】
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2丁目2番39号
TEL 072-751-1111



～尼崎市でマイ・タイムライン作成講座を開催しました～

- 猪名川河川事務所は、尼崎市と共同で、「マイ・タイムライン作成講座」を開催しました。
- 気象予報士で流域治水アンバサダーでもある澤さんを講師として、近年の気象災害と情報の活用、災害への備えやハザードマップの見方などを教えて頂きながら、“尼崎市洪水ハザードマップ”や“猪名川河川事務所版マイ・タイムライン作成シート”を活用したマイ・タイムラインの作成を行いました。
- 今後も自治体と連携して講習会を継続していき、地域の安全・安心の向上のための取り組みを進めていきます。

- ◆日 時：令和8年2月7日（土）14:00～16:00
- ◆場 所：園田東生涯学習プラザ（兵庫県尼崎市）
- ◆参加者：30名
- ◆内 容：講義「近年の気象災害と情報の活用について」
マイ・タイムライン作成講座



澤麻美 気象キャスター

松本眞 尼崎市市長

嶋本好晴 事務所長

猪名川河川事務所版 マイ・タイムラインシート



市長にもサポートいただきました



自分の行動を選んでシートに貼る。

作成したマイ・タイムラインの発表



マイ・タイムライン作成の様子

- ◆参加者からの感想
- ・避難に向けた具体的な行動が可視化できて、小さなお子さんや高齢者にも大変わかりやすい。
- ・準備するものや行動をあらかじめきめておくことで、落ち着いて行動できる。
- ・ご近所の方にも伝えたい。

【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2丁目2番39号
TEL 072-751-1111



余野川流域勉強会(令和8年3月10日実施)

猪名川河川事務所の考え

- ✓ 猪名川流域において**水害リスクが存在**するうえ、気候変動の影響で、今後降水量はさらに増大することが懸念⇒**新たな流域治水の取組みが必要**
- ✓ 猪名川流域では昭和57年から現在も、「猪名川流域整備計画」(総合治水)に基づき流域治水に取り組んでいが、**計画は古く実態に沿わない点や設定根拠が不明ところがある**など問題点が多い
- ✓ 流域自治体へのヒアリングの結果、猪名川流域全体で特定都市河川指定の合意形成には時間を要すると予想
- ✓ 新たな流域治水計画を新たに流域みんなで協議する場と信頼関係を構築することが必要
- ✓ **具体的な治水対策目標を立て、それらを法的根拠に基づき執行する特定都市河川に切り替え、新たな流域水害対策を実施することが必要**
- ✓ **小流域単位等で先行も指定できるところは積極的に検討を進めて行くことが必要⇒余野川流域での指定に向けた検討が有用と判断**

大阪府の特定都市河川指定に向けた方針

- ✓ **大阪府が管理している河川において、1/30降雨(整備計画規模)で床上浸水が発生するリスクがある河川は河道改修を急ぐ方針としている**
- ✓ 余野川は上記の水害リスクのある河川で特定都市河川化により円滑な河川改修事業進捗を目指している



猪名川流域では余野川流域で特定都市河川の指定を検討することを議論スタート

- ✓ (メンバー)猪名川河川事務所、大阪府、池田市、箕面市、豊能町



流域全体図と余野川流域の関係

一庫大路次川における浸水想定区域の公表

- 国土交通省では、水害リスク情報の空白域を解消するため、令和3年に水防法を改正
- 浸水想定区域等の作成・公表の対象を全ての一級・二級河川や海岸、下水道に拡大

これに伴い、猪名川河川事務所では一庫大路次川が氾濫した場合に浸水が想定される区域、想定される水深及び浸水の継続時間を示した「洪水浸水想定区域等」を水防法第14条第1項第3号及び同法第4項の規定に基づき指定・公表し、関係市へ通知しました。
(令和8年3月27日に記者発表済)

【公表するに至った背景】

- これまで公表した浸水想定区域図は洪水予報河川及び水位周知河川(民経済上重大な損害又は相当な損害を生ずるおそれがあるものとして指定された河川)の区間においては水防法に基づき水害リスクの公表をされ危険を周知
- しかしながら、洪水浸水想定区域の指定対象外の中小河川でも、水害リスクがあるにもかかわらず、リスク周知されていないことで、「安全な地域である」との誤解を招いている事態も見受けられようになった。
- このような状況を踏まえ、「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」による水防法の改正により、浸水想定区域の指定対象とされていなかった河川(下水道、海岸含む)の周辺で住宅等の防護対象のある箇所についても指定対象に追加し、新たに水害リスク情報を発信することとし、水害リスクの空白地帯の解消を目指すために公表するものです。

内外水統合型の水害リスクマップの作成について

これまで、国や都道府県では、水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「洪水浸水想定区域図」を作成・公表。

最悪の事態を想定した命を守るための避難計画・避難行動に効果を発揮してきた。



今後、水害リスクを踏まえた土地利用の促進など流域治水の取組を推進するために・・・

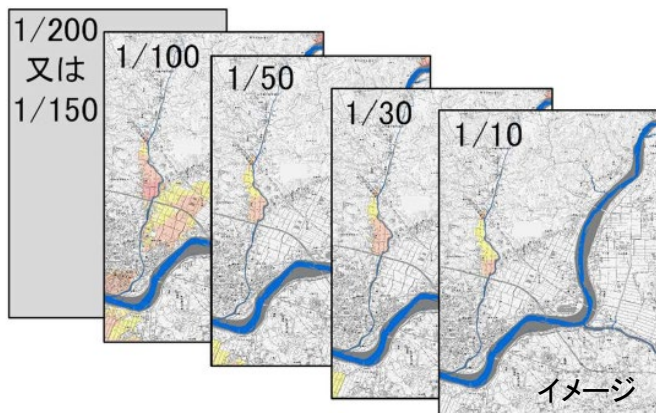
①多段階の浸水想定図作成、②種々の水害リスクマップ作成



③内水外統合の水害リスクマップを作成し公表する予定

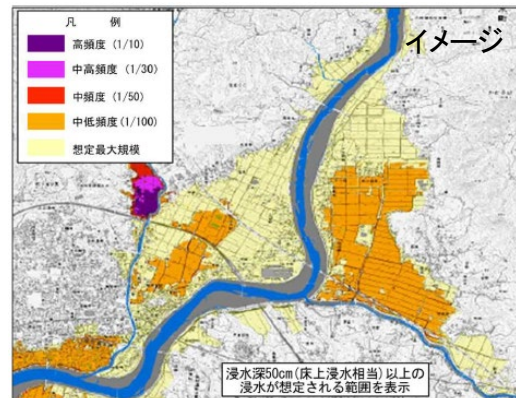
【多段階の浸水想定図の作成】①

高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎（年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150 又は1/200）に作成した浸水想定図を作成



【種々のリスクマップ作成】②

多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.0m 以上、0.5m 以上（床上浸水以上）、3.0m 以上（1階軒下浸水以上））で作成



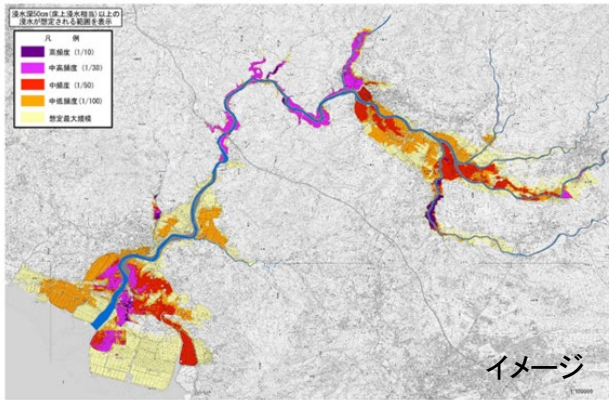
※3段階の浸水深で表す予定

浸水深50cm以上の例

内外水統合型の水害リスクマップの作成について

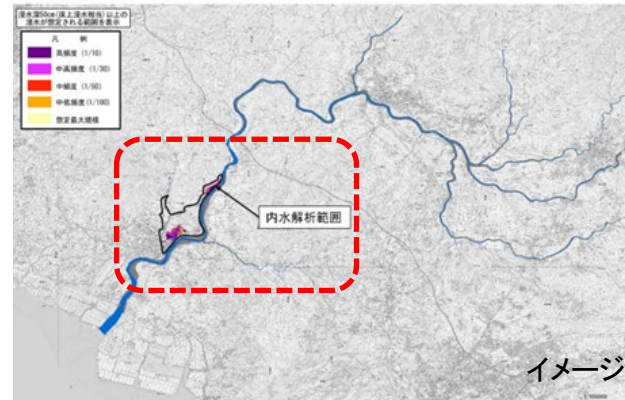
【水害リスクマップ】主要河川の氾濫対象②

主要河川の氾濫が卓越する降雨シナリオ(多段階浸水想定図)を用いて、所与の浸水深(前項3段階の浸水深)になると想定される浸水範囲を降雨の確率規模別に作成



【水害リスクマップ】主要河川以外の氾濫対象②

主要河川以外(支川、下水道等)の多段階の浸水想定図を用いて、主要河川と同様に水害リスクマップを作成

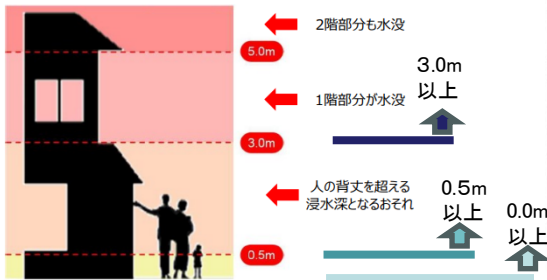


+



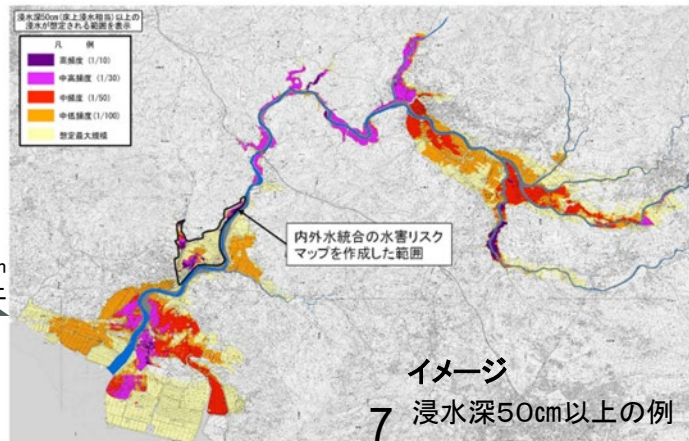
主要河川と主要河川以外の水害リスクマップを統合して、主要河川と同様に水害リスクマップを作成

【内外水統合の水害リスクマップ】③

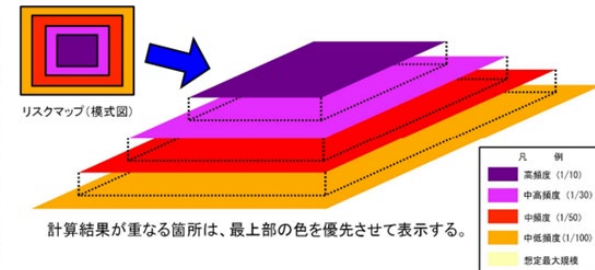


出典：洪水浸水想定作成マニュアル（第4版）から抜粋した図を一部加工

3つの浸水深毎にマップ作成



7 浸水深50cm以上の例



浸水範囲の着色イメージ
(重なる箇所は最上部の色優先)

気象庁（大阪管区気象台、神戸地方気象台）

■防災教育

尼崎市での普及啓発活動

令和7年度に尼崎市で開催された「打ち水大作戦inあまがさき2025」、「あまもり防災フェスタ」に参加し、展示やクイズで防災気象情報等の普及啓発を行った。



令和7年8月1日

打ち水大作戦inあまがさき2025 8



令和8年2月7日

あまもり防災フェスタ

■ まちなか想定浸水深等標示板の設置

○平時から住民の浸水等の災害リスクへの意識を高めることに加え、本市への来訪者や外国籍住民への多言語対応を踏まえ、災害時の迅速な避難行動に資することを目的とし、本市ハザードマップに準拠した各種情報（想定浸水深、避難場所情報、避難誘導に資する情報）を掲載した標示板をR6年度からR9年度にかけて市内一円の電柱に設置します

まちなか想定浸水深等標示板レイアウトの特色

- ①避難方向の「矢印」 ●上下・左右・斜めで表します。
- ②「やさしい日本語」 ●誰にでも分かりやすい「やさしい日本語」を大きく表示します。
- ③「ピクトグラム」 ●避難場所のピクトグラムを大きく表示します。
- ④「避難場所名」 ●避難場所の施設名称を大きく表示します。
- ⑤「水害リスク情報」の記載 ●市内で考えられる全ての水害リスク(洪水/内水、高潮/津波)を意味するピクトグラムを表示します。
●QRコードを読みとると、その地点の水害リスクごとに想定浸水深の数値が確認いただけます。
- ⑥「海拔表示」の記載 ●その地点の標高を確認いただき、防災意識の向上に役立てます。

⑦避難場所・避難経路情報、多言語表記 (QR Translator)

⇒右がイメージ図

避難場所 (小学校の例)

避難経路に関する情報 (イメージ)

・避難場所の災害種別情報
たかしお こうずい かさい
つなみ ないすい
● ○ ○ ×

・その他 避難場所情報
ペット トイレ
● ○ ○

QR Translator

6カ国語

- ・日本語
- ・英語
- ・中国語(簡体字)
- ・韓国語
- ・ベトナム語
- ・ネパール語

各母国語に対応したこれらの情報を提供予定です。

